



別の顔

放課後は



after

機会が減りましたが、先日行われた「いぶすきフラフェスティバル」では久しぶりに大勢の人たちの前で踊ることができました。私のことを幼い頃から知る先生方が、私の成長した姿に泣いて喜んでくださる姿が印象的で楽しい大会とな

大始良中学校
かみふきごし はな
上吹越 花菜 さん(3年生)

生徒会の文化部長を務める。クラス対抗の合唱コンクールを主催するなど文化部を引っ張る。文系科目が好きで、将来は家庭科の先生になることが目標。



school

母が行うフラを見よう見まねで3歳から始めたことが、フラとの出会いです。小さい頃からイベントや県内の祭りなどに参加して踊っていました。中学生になってからはコロナ禍で踊る



りました。

フラは、ハワイの伝統文化で神秘的な踊りです。踊る人によって表現の仕方が異なるため、そのような表現の違いを楽しむことがフラの魅力の一つだと思っています。来年のコンペを目標に、見ている人を感動させワクワクさせてもらえるフラを踊れるようこれからも頑張りたいです。

昔、度尾で起きた出来事にクローズアップ!



タイム トラベル ~温故写新~

16話

ほんがま
盆釜

写真は「かのや風土記」から転載



日本には、夏に先祖の霊を祀る古来からの風習があります。先祖や亡くなった人たちが地上に戻ってくる期間を「お盆」と呼び、正式名称を「盂蘭盆会」といいます。

お盆は、地域によって期間や過ごし方が異なります。旧暦の7月13日〜15日に行われている地域もありますが、全国的には新暦の8月13日〜16日に行われます。お盆期間中の過ごし方は、先祖のお墓参りや親族での法事が一般的ですが、精霊送りとして花火を打ち上げたり、お祭りを開催する地域もあります。

市内でもこの期間の風習の一つに「盆釜」がありました。こ



▲令和元年に行われた盆釜の様子。高隈地区コミュニティ協議会では、今は見ることのなくなった行事を掘り起こし、体験講座などを開催。

のではないのでしょうか。

お盆は地域や歴史などによって時期や過ごし方も異なりますが、先祖をお迎えする大切な風習の一つです。先祖や故人への感謝を表し温かく迎え入れることで、より良いお盆を過ごせるのでは

これは子どもの成長を願い、教育・修行の一環として行われていた風習です。お盆の期間中に子どもたちが米などをもらい集め、男の子は焚き木や石でかまどを作ったり、女の子は小さな釜や鍋を借りて食事を作ったりしていました。この盆釜は河原や道端、寺社の前など野外で行われ、出来上がったご飯は柿の葉によそい、庭に敷いたムシロなどの上で食事をしました。現在は見かけることの無くなった風習ですが、高隈地区では長く継承され、昭和30年代まで残っていました。